

ヒーターガイド用継手 (NAF13J8G)

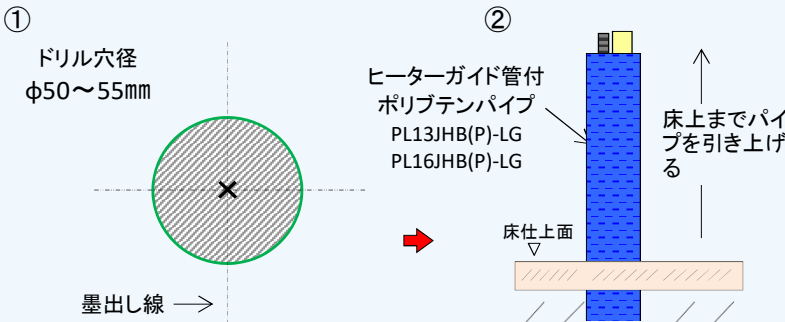
BRIDGESTONE

「給水・給湯」「空調」配管システム

プッシュマスター

ヒーターガイド用継手の正しい施工手順

STEP1 <床穴あけ作業について>



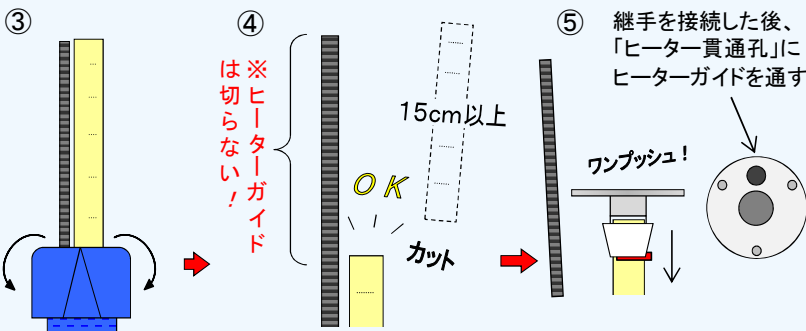
① 床仕上げ面に器具取り付け位置の墨出しをし、穴あけ作業を行う。この際、根太への干渉にご注意ください。穴あけ用ホルソーは床材に合わせた適切なものを選定下さい。

ポイント!
穴径はφ55mmを推奨。
(最小φ50mm以上を確保して下さい)

【推奨ホルソー】
ミヤナガ製 ウッディングコア
刃先径 50,55mm 有効長 130L

② 床上までパイプを引き上げる。
(300mm以上余裕をもって)

STEP2 <パイプと継手の接続作業について>

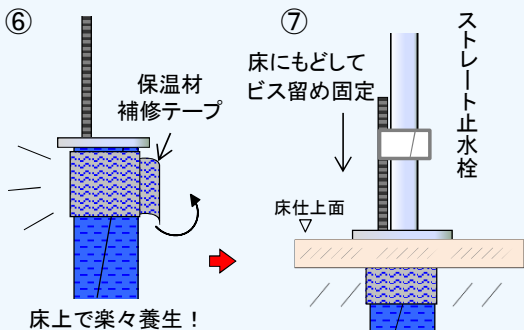


③ 保温材を指で裂き、ポリブテンパイプとヒーターガイドをむき出す。

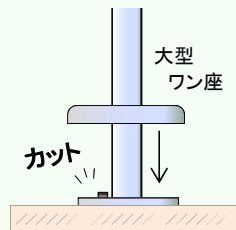
ポイント!
④ **ヒーターガイドは切り落とさず、パイプのみ15cm以上カットし、ヒーターガイドと段違いにする。**

⑤ パイプを継手に接続した後、継手大座部分に設けられた「ヒーター貫通孔」にヒーターガイドを通す。

STEP3 <床面への固定作業について>



【ワン座使用の場合】
トイレなど外観が気になる所ではワン座もご使用できます。



⑥ 保温材端部が広がらないように補修テープでしっかり固定したあとに、床仕上げ面にビス留めする。

【保温材補修用テープ】: HZTH-B(P)

⑦ ストレート止水栓を立てた後、ヒーターガイドが落下しないよう、インシュロック等で固定する。

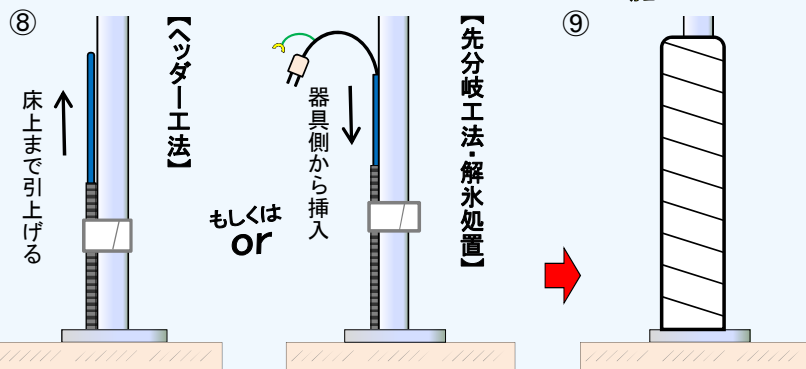
【ワン座使用の場合】

大型ワン座を使用する場合は、ヒーターガイドを根元から切り落としてご使用下さい。

(気密性を保つため、目張りして下さい)

【大型ワン座】: φ80×10t×13用(穴径φ22)

STEP4 <ヒーター挿入と保温作業について>



⑧ 自己制御型ヒーター(アース付)をヒーターガイドに挿通する。

※注意※
サーモスタット付属タイプのヒーターを屋内側から挿通する場合、サーモスタットが室内温度を誤検知して、冬場でも通電しない場合があります。この場合は**サーモスタットを取外して**※ご使用下さい。

※サーモスタット無しの場合は、夏場でも自己制御型ヒーターが通電する場合があります。

⑨ 最後に保温材で全体を養生して、施工完了です。

(保温筒サイズは16Aを推奨)

- ・本製品の外観、色、仕様等は改良の為予告なく変更する場合があります。
- ・継手接続作業及び取扱いについての詳細は弊社カタログをお読み下さい。
- ・ヒーターは最高温度70℃以下の自己制御型(アース付)をご使用下さい。
- ・ヒーターに関する詳しいお問合せは各ヒーターメーカー様までお願い致します。
- ・その他製品、施工に関するご質問がございましたらお気軽にお問合せ下さい。

取扱店

販売店

ブリヂストンタイヤ長野販売株式会社 建築用品営業所

〒399-0033 長野県松本市大字笹賀7950

TEL : 0263-26-8700 FAX : 0263-26-1798

2023.2 改3 ㊟

製造・販売
株式会社ブリヂストン

HP : <https://www.bridgestone.co.jp/products/dp/pushmaster/index.html>